

2024

第78号

NUKUMORI

ぬくもり

令和6年元日に能登半島に地震がおり、翌日には羽田空港で航空機衝突という大きな事故がありました。このたびの災害と事故でお亡くなりになられた方々に対しまして、謹んで哀悼の意を表します。また、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被害に遭われた皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

社会福祉法人ともいき福祉会職員一同

謹賀新年



新年のご挨拶

社会福祉法人ともいき福祉会
理事長 栗原 正寛



明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては令和6年の初春をお健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。皆様方におかれまして、より良き一年になりますようご祈念申し上げます。

また、旧年中はご利用者の皆様、ご家族の皆様には法人運営及び施設運営にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。地域の皆様方、取引先の皆様方にも様々な形でのご支援、ご協力を賜りましたこと感謝申し上げます。ここにあらためて厚く御礼申し上げます。

さて令和6年度に予定されている「トリプル改定」では、介護保険の介護報酬・医療保険の診療報酬・障害福祉サービスの報酬の3制度の改正が同時に行われます。介護報酬・診療報酬・障害福祉サービスなどの報酬制度は、それぞれ要介護者・要支援者、診療行為、障害者や難病疾患の対象者へのサービス対価を決めるものです。「トリプル改定」は6年に1回のペースで実施されるため、影響範囲の広さと重要性から弊法人としても大いに注目している中、昨年末に介護報酬について1.59%のプラス改定が発表されました。詳細については、もうしばらくかかると思われますが、介護士を始めとする職員の処遇改善や介護と医療の連携強化、新たなサービスの提供等、利用者の

利便性およびサービスの質向上が期待できます。

弊法人も「トリプル改定」をきっかけに、改めて事業の持続性を確保しつつ、職員の処遇改善や他の事業所との競争力を高めるためにも、サービスの提供内容や方法の精査、さらにはサービスの質向上に努めなくてはなりません。経営計画の見直しや効率的な運営方法の模索が必要不可欠な昨今、介護サービスの質と安心感を高めながら業務効率を向上させ、介護事業運営を行ってまいります。

本年も社会福祉法人ともいき福祉会は高齢者福祉サービスの安定的・継続的な提供と社会福祉事業に取り組んでいる事業者との連携・協働に取り組み、社会福祉事業を担うにふさわしい社会福祉法人としてより一層研鑽してまいります。

「共生(ともいき)」の心を大切に受け継ぎ、地域共生社会の実現に向けて職員一同努力してまいりますので、皆様におかれましては引き続きご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

ご利用者様、職員、そして法人に携わる全ての皆様と「共生(ともいき)」の心を分かち合い、お互いを認め合い、お互いを助け合い、暮らしていきたいと思っております。

そしてこれからも、皆様と共にあり続けたいと願っております。

本年も宜しくお願い致します。

犬山市長

原 欣伸



あけましておめでとうございます。
本年もみなさんにとってよい年になるよう心からご祈念申し上げます。

能登半島地震が発生しました。1月1日元旦の夕刻でした。犬山でも大きな揺れを感じました。ニュース映像に映し出される被災状況に心が痛みます。一刻も早い平穏と救出、被災者みなさんに支援がいき渡ることを願うばかりです。犬山市としても被災地に思いを寄せて、支援の準備対応を進めていきます。

その中で、市民みなさんが犬山市に一番に求める一つが…「安心安全」です。昨年の10月に「福祉避難所の開設訓練」ともいき福祉会の養護老人ホームぬく森さんで実施しました。犬山市には福祉避難所が15か所ありますが、

これまで訓練は実施できず、今回が初めてとなる福祉避難所を開設し、高齢者と障がい者を受け入れる避難訓練となりました。筋書きのある訓練なのに…やってこそ、初めて分かる多くの課題が確認でき、すごく大切に貴重な訓練となりました。この訓練を、犬山の安心安全につなげていきます。

こうして訓練が実施できたのも、いつも利用者みなさんに寄り添って、地域や犬山市に貢献くださり、職員みなさんに信頼されているともいき福祉会さんだからこそです。これからも利用者さんが日々穏やかで、楽しく安心した生活が送られ、地域に根差した「共生」事業の充実と実践をよろしく願います。犬山市も応援させていただきます。

改めて、日頃からのご尽力ご協力で感謝申し上げます。本年もご指導よろしくお願い申し上げます。

石川県能登地方を震源とする能登半島地震が発生し、東海地方でも大きな揺れが観測されました。「ぬく森家族会」会員をはじめ職員の皆様、お変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。このたびの災害で被災された方、そのご家族及び関係の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

家族会の皆様には日頃より会の運営や活動に対してご理解をいただき誠にありがとうございます。

また、職員の皆様には入居家族への温かい介護や支援に感謝するとともに、家族会の活動にご協力いただき、心より厚くお礼申し上げます。

2019年から続いた新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、世間はコロナ禍以前の日常を取り戻しつつある

ように思います。しかし、医療機関や福祉施設においては、面会や外出などに制限を強いられる状況が続いております。

今年こそは行動制限がなくなり、ぬく森の入居家族との面会や外出、各種イベント等を楽しめるようになることを、心待ちにしております。

ぬく森職員の皆様には、これからも入居家族が安心できる生活環境を提供していただくようお願いするとともに、各種イベントや地域の皆様との交流により、入居家族が彩り豊かな毎日を過ごせるよう、お願いいたします。

最後となりましたが、皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



2024年、辰年 新年あけましておめでとうございます。

昨年は、感染症の脅威に心を残しつつ、慎重にゆっくりと物事を進めてきた一年でありました。一方、地球温暖化改め、「地球沸騰化」という言葉を聞くようになった年でもあります。「沸騰」という言葉通り、昨夏はとても暑く、この冬も季節外れの暖かさから一気に真冬の寒さとなったり、極端な気候変動に身体がついていけず、不安に思う日もありました。たとえ快適な室内で過ごしていたとしても、気候という大自然に対して、私たちは抗うことはできず、心身の健康に深く影響するという事を、私はこの仕事を通して、実感として教えていただきました。身体の不調は、心や思考にも連鎖するということ、まさしく今、日本は、そして世界は、先行きが読めない、「不安」の真つただ中をさまよっているような気がします。

世界のトップニュースは各地で起きている「戦闘」が「自然災害」のこと。リアルな映像は胸が痛みます。日本では、政治が揺らぎ、私たちの暮らしに直結する制度改革等も、果たしてどう

なるのでしょうか、なかなか落ち着かない様相です。特に今年は、介護保険制度の改正の時期にあたります。診療報酬改定を始め、マイナ保険証への切り替えもあります。経済政策、子育て支援、金融緩和策の動向、物価、光熱費、燃料費など、等、しっかりと正しい情報に耳を傾けなければなりません。

唯一、明るいニュースは、様々なスポーツで、日本(人)が活躍していること。今年はパリオリンピックの年でもあります。国内外で大いに活躍していただき、私たちも、その高揚感をエネルギーに変えて、前を向きポジティブに歩んでいきたいと思います。

昨年は、施設行事にご家族をお迎えして、利用者さまと共に楽しむ機会を作ることができました。本年は、地域の方やボランティア様など、少しずつ交流を再開していくことができればと考えております。利用者さま、ご家族、地域の皆様との当たり前の日常を、穏やかに過ごすことができれば幸いです。「辰年」は「改革」「改正」「激動」等変革の年になると言われます。この一年、皆様にとりましては、素晴らしい出来事と大きな夢が叶う年となりますことを、心より祈念いたしまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より「ぬく森」に対し格別のご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

社会はコロナ禍前の日常へと戻りつつありますが、高齢者施設では新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対する警戒が続いています。ご家族の皆様をはじめ、関係者の皆様には日頃からご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルス流行以降、新たな変異株の情報やMpox(サル痘)の情報など新たな脅威に関するニュースを目にする機会が増えました。ぬく森の職員として、あらゆる脅威に対策を講じ、利用者の皆様が安心して生活できるのはもちろん、ご家族の皆様や地域の皆様との交流の機会を持てるよう務めてまいります。

さて、2023年のスポーツ界はWBC優勝から始まり、バスケットやバレーボール、MLBで活躍する大谷選手など話題の多い一年でした。ぬく森が協賛する犬山市初のプロスポーツチーム

「AICHISONE」も地域の活性化に大きく貢献され話題となりました。

そして、38年ぶりに阪神タイガースが日本一となりました。「ハマの大魔神(横浜)」「雑草魂(巨人)」「神ってる(広島)」「村神様(ヤクルト)」に続き、「a.r.e(阪神)」が流行語大賞に選ばれました。辰年である2024年は中日が日本一となり、中日発で初となる流行語大賞が誕生し、愛知県の経済活性化に期待しております。

一方で、2023年「今年の漢字」は『税』でした。インボイス制度の開始や社会保険料の改定、法人税、所得税、たばこ税の増税などに関する議論が行われた事が選ばれた理由です。『税』よりも、新型コロナウイルスの感染拡大やロシアによるウクライナ侵略などにより、ガソリン価格をはじめ食品や光熱費など物価『高』騰の方がより身近に感じた一年だったのではないのでしょうか。

2024年は介護保険の改定の年となっています。制度がどのように変わるのかはまだ不透明なところもあります。皆様に説明ができるようになりましたら、速やかに説明させていただきます。

利用者の皆様が安心して生活できるよう、職員一同“ともに生きる”を胸に自助努力に励み、地域福祉の発展に力を注ぐことを誓い、新年の挨拶とさせていただきます。

9月

デイサービスセンターぬく森・第二 敬老会

9月の祝日と言えば敬老の日と秋分の日、ということで敬老会を開催しました。赤白旗上げゲーム、あっち向いてホイゲーム、だるま運びゲーム等をしました。紅白旗上げゲームはみなさん完璧でしたし、あっち向いてホイゲームでは大きな歓声が上がりました。活力あふれるみなさんの姿を見ることができて良かったです。



9月

保育所ぬく森 敬老の日

9月18日は敬老の日ということで、大好きなおじいちゃんおばあちゃんにお手紙を書きました。「顔描いたのー!」とうれしそうに見せてくれました♪好きな絵を思い思いに描く子どもたち。とても素敵な作品が出来上がりました。



10月

デイサービスセンターぬく森 ハロウィン運動会

ハロウィンということでジャック・オ・ランタン風のアイテムを使ったゲームや体操を行いました。ハロウィンは若者が楽しむイメージがありますが、若者に負けじとみなさん大きな声を出して盛り上がりました。その後に“流行”の意味を持つ日本発祥のスイーツ“プリン・アラ・モード”を召し上がっていただきました。みなさんにとってハロウィンは馴染みがないかもしれませんが、美味しいものを食べている笑顔を見ると、ハロウィンも良いイベントですね。



11月

ユニット型特別養護老人ホームぬく森 食欲の秋

ぬく森新館の秋は“食欲の秋”として、ユニットでおやつレクをたくさん開催しました。秋の味覚を感じていただくために、モンブランのケーキやりんごののったケーキの他、さつまいものロールケーキや栗の入ったどら焼きなどを召し上がっていただきました。新館の窓の外に見える紅葉を目で楽しみつつも、美味しい秋のスイーツにみなさん笑顔で過ごされました。



11月

特別養護老人ホームぬく森・第二
イベント盛りだくさん

ぬく森・第二では恒例となった焼き芋。「こんなおいしい焼き芋は初めて食べた!」という声も聞かれるほど、好評でした。管理栄養士主催の甘味処では、お茶碗で飲む抹茶は一味違い、小さいクリームぜんざいとともみなさん楽しめました。創作クラブでは瓶の中に落ち葉やドングリを詰めて、おしゃれなハーバリウムを作成するなどイベント盛りだくさんな月となりました。



12月

ケアハウスハートフル
お楽しみ抽選会

お楽しみ抽選会を行いました。もこもこのマフラーや手袋、座布団、バッグ、ブランケット等みなさんに似合いそうなものをご用意しました。みなさん目を輝かせ、まるでバーゲン会場のような熱気が感じられました。抽選会のあとはケーキバイキングで好きなケーキを選んで召し上がっていただきました。英気を養い、明日も頑張りましょう。



12月

ぬく森サロン・五郎丸
クリスマス会

2023年最後のサロンはクリスマス会。みなさんと一緒に飾りつけモールをつかってクリスマスツリーを作り、オーナメントを組み立ててパーティー会場の完成。クリスマスの歌を歌ったり、プレゼント交換ゲームをしたり、楽しい時間はあっという間でした。2024年はどこかお出かけできると良いですね。



12月

特別養護老人ホームぬく森
書道家

みなさんと半紙を並べて書道を行いました。「習字なんて久しぶりだなあ」「まあうまく書けんぞ」と言いながらも真剣な表情で筆を握られていました。書き終わると「疲れるわあ(笑)」と笑顔がこぼれ「上出来やる?」と職員に見せてくださいました。「お正月が近くなったら謹賀新年の文字もお願いします」と声をかけると「上手にかけるかなあ」とやる気を見せてくださいました。



クリスマスイベント

新型コロナウイルスなど感染症の影響で2023年度もイルミネーション点灯式を開催することができませんでした。
2023年も各事業所にて工夫を凝らしたクリスマスパーティーを開催！みなさんの楽しそうな笑顔が見れて良かったです。
2024年はご利用者・ご家族の皆様と一緒にクリスマスイベントができると良いですね。

特別養護老人ホーム ぬく森



特別養護老人ホーム ぬく森・第三



デイサービスセンター ぬく森・第三



デイサービスセンター ぬく森



ぬく森サロシ・五郎丸



保育所ぬく森



ともいきもちつき大会

令和元年以来となるご家族様をお招きしてのともいきもちつき大会を開催しました。

職員が餅をつく様子に合わせて、みなさんから大きな声で「よいしょー!!」と合いの手を入れながら手拍子を打って

応援してくださいました。つきたてのお餅を使って定番のあんこ餅やきな粉餅はもちろん、
拠点によってオリジナルメニューを用意しました。みなさんの笑顔溢れるもちつき大会となりました。

残念ながら、感染対応中のため規模を縮小しての開催となりましたが、

2024年はより盛大にできると良いですね。

橋爪山拠点

羽黒拠点

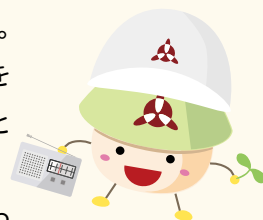




令和5年 10月28日(土)

福祉避難所開設訓練

犬山市では初となる福祉避難所開設訓練が養護老人ホームぬく森にて行われました。福祉避難所とは、災害時に一般の避難所で避難生活を送ることが困難な避難者を対象に開設される避難所で、社会福祉法人ともいき福祉会の各施設が平成27年に犬山市と福祉避難所協定を結んで以来8年になります。



今回の福祉避難所開設訓練は、南海トラフ地震で犬山市が震度5強の災害に見舞われた想定でした。犬山市の災害対策本部から福祉避難所の開設が依頼され、要配慮者を移送および避難するまでの一連の手順の訓練を行いました。今回、このような規模で福祉避難所開設訓練が執り行われたことは大変有意義であり、大切なことと思います。

現在、世界各国では異常気象の影響もあり大きな災害が頻繁に起こっている状況です。日本国内を見ても毎年様々な地域で災害が発生しており、この地域でもいつ災害が起こっても不思議ではありません。不意に起こりうる災害に対して日ごろから様々な視点で防災訓練を行うことは、必要不可欠なことと考えています。今後も、福祉避難所開設訓練をはじめ様々なケースを想定した訓練を犬山市と連携して、また地域の皆様とも協力して行なっていければと考えていますので、その際は、ご理解とご協力をお願いいたします。



ご協力ありがとうございました

※敬称略・順不同
令和5年9月1日～令和5年12月31日

ボランティアありがとう

吉田 英翠 移動美容室「ひまわり」

激励ありがとう

健康お笑い隊 年金トリオ
特定非営利活動法人ぽんぽこネットワーク

善意ありがとう

竹内 清次 犬山市老人クラブ連合会
武藤 慎一 社会福祉法人犬山市社会福祉協議会城東支部
宗本 大史郎 社会福祉法人犬山市社会福祉協議会
村上 敏治 犬山市共同募金委員会